



医療法人 医仁会 武田総合病院  
 京都市伏見区石田森南町28-1  
 TEL.075 (572) 6331 (代)  
 呼吸器外科 部長  
 鈴木 雄治 (すずむら ゆうじ) 先生

## 肺癌の早期発見と予防について

最近テレビなどの報道番組で、よく肺癌で亡くなる方を見聞きしますが、肺癌はそんなに多い病気なのでしょうか？また肺癌にならないためには、あるいはもしなったとしても早く見つけるためにはどのようなことに気をつけたらよいのでしょうか？

現在死亡率のトップは癌に代表される悪性新生物で、心筋梗塞などの心疾患や、脳出血、脳梗塞などの脳血管疾患を上回っています。癌の中で最も死亡数が多いのが肺癌で2009年には約6万7千人のかがたが肺癌で亡くられており、男性では1位、女性では大腸癌に次いで2位となっております。肺癌の発症において唯一因果関係がはっきりしているのは喫煙です。よって我々ができる予防策は禁煙しかありません。たばこの煙の中に数種類の発癌物質が含まれており、その煙を吸うことよって癌が誘発されるのです。また自分がたばこを吸わなくてもまわりの人が吸っているその煙を吸うのもよくありません。これを受動喫煙といいます。喫煙は肺癌だけでなく、喉頭癌、食道癌、胃癌、尿路系の癌など他の癌とも関連があることもわかっています。もし肺癌になっても初期にはほとんど症状は出ません。胸部レントゲン写真でもわかりにくいこともよくあります。早期に肺癌を見つけるためには胸部のCT

検査が最適です。肺癌の場合、最初に出てくる症状のひとつに咳があります。風邪などほかの疾患でもよくある症状の一つなので、先に肺癌を疑うのが難しいのも事実です。2週間以上続く咳の場合は肺癌以外にもなんらかの呼吸器疾患があることが多いので病院を受診するようにしましょう。1ヶ月以上続く咳の場合は放置することは厳禁です。肺癌の症状として他に血痰と胸痛があります。これらの症状が出現した場合も躊躇せず病院を受診しましょう。以上まとめますと肺癌の予防には禁煙、早期発見のためには胸部CT検査なのです。しかし健診では胸部レントゲンは必須項目になっていきますが胸部CTは追加項目として自費で検査をしなければならぬのが現状です。何らかの肺癌を疑う症状があれば、病院で保険診療として胸部CTを撮影できます。しかし肺癌の根治のためには症状が出る前の早期の肺癌を見つけることが大切なことなのです。

- 日頃気になっている病気、からだの悩みについてご質問をお寄せください。官製はがき、封筒のいずれでも結構です。住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記のこと。誌上では匿名にいたします。お気軽にご相談ください。
- 〒612-8216 京都市伏見区本木町668-3 月桂冠酒蔵オフィス3号室 ザ・伏見編集部「健康相談室」係